

石川県内経済情勢

令和8年7月
財務省北陸財務局

県内経済は、持ち直している。

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

(注) 8年7月判断は、前回8年4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

個人消費：緩やかに回復しつつある。

百貨店・スーパー販売

飲食料品等が堅調であることなどから、緩やかに回復しつつある。

コンビニエンスストア販売

カウンターフーズに動きがみられるものの、おにぎり等の動きが鈍いことから、前年並みとなっている。

ドラッグストア販売

日用品等に動きがみられるほか、新規出店効果もあり、拡大している。

ホームセンター販売

夏物商品等に動きがみられることから、順調となっている。

家電大型専門店販売

エアコン等に動きがみられることから、持ち直している。

新車販売台数

持ち直している。

主要観光地の来訪客数

前年を上回っている。

主要温泉地の宿泊客数

前年を上回っている。

設備投資：8年度は減少見込みとなっている。(法人企業景気予測調査(8年4-6月期調査))

製造業、非製造業ともに減少見込みとなっている。

住宅建設：横ばいの状況にある。

新設住宅着工戸数でみると、横ばいの状況にある。

公共事業：前年を上回っている。

前払金保証請負金額

前年を上回っている。

生産活動：持ち直しつつある。

汎用・生産用・業務用機械

金属加工機械や繊維機械で持ち直しつつあることなどから、全体では持ち直しつつある。

電気機械

自動車向けで緩やかに持ち直しつつあるほか、AIサーバー向けで増加していることなどから、全体では持ち直しつつある。

化学

大宗を占める医薬品で、回復している。

繊維

衣料向けを中心に弱含んでいる。

企業収益：8年度は増益見込みとなっている。（法人企業景気予測調査（8年4-6月期調査））

製造業、非製造業ともに増益見込みとなっている。規模別では、大企業、中小企業は増益見込み、中堅企業は減益見込みとなっている。

企業の景況感：全産業では「下降」超となっている。（法人企業景気予測調査（8年4-6月期調査））

現状判断（8年4-6月期）は、製造業、非製造業ともに「下降」超となっている。

なお、先行きは、全産業では8年7-9月期、8年10-12月期ともに「下降」超となる見通しとなっている。

雇用情勢：持ち直しの動きに一服感がみられる。

有効求人倍率（季節調整値）

高水準で推移するものの、低下している。

新規求人数

前年を下回っている。

新規求職者数

前年を下回っている。

雇用保険受給者実人員

前年を上回っている。

金融機関の貸出金：前年を上回っている。

企業倒産：前年を上回っている。

件数、負債総額ともに前年を上回っている。

消費者物価（金沢市、生鮮食品を除く総合）：前年を上回っている。

お問合せ先 財務省 北陸財務局 経済調査課 TEL (076) 292-7858
--